

我が社生存の構え、「心」を残せ「芯」を以て表せ

残心



「残心」とは元来武術の心構え或いは身構えであり、斬り結んだ後間合いを取り、其之後に備える為示す姿勢のことである。云う為れば、生き残る為に必要な技術である。

而して我々ダイヤHDものづくり企業の仲間達は、お客様、銀行様、御仕入先様、仲間達に残心を示すは無論、其之心を形として表す、即ち「残心」から踏込み「残芯」を示さねば為らぬと云えよう。

具体的にはどういふことか。先ず以て大切な「あいさつ」と「環境整備」。例えばお客様が去られるとき、其之姿が見えなくなるまで見送り最後に深々と一礼を行う、左記正に残心であり残芯其之ものである。或いは、環境整備為れば、履物を揃える（脚下照顧）、扉をきちんと閉める（異物混入対策）、実は何れも厳しく「残心」を問われ「残芯」を示さねば為らぬものであると捉え直すべきなのだ。

みんながひとつひとつの仕事に「心」を残し「芯」を以て表せるかどうか、我々ダイヤHDが此之惨禍を生き延びた後、生き残れるかどうかの構えは「残心」、そして「残芯」だ。

代表取締役社長CEO兼グループCEO

小野有理